



## にちなん中国山地林業アカデミー

ひのぐんにちなんちょうたり  
鳥取県日野郡日南町多里

修学期間：1年間 定員：10名



校舎全景

平成29年に「林業成長産業化地域」に選定された本町に、今年4月、実践的な林業現場研修による専門技術の習得と最新の林学・教養の知識を有する林業技術者の育成を目的とした「にちなん中国山地林業アカデミー」が誕生しました。

本校は、指定管理者となった一般財団法人日南町産業振興センターが運営、日南町森林組合、林野庁鳥取森林管理署、鳥取県、鳥取大学、島根大学などと運営協力に関する覚書を締結し、それら産官学14団体から指導者の派遣や実習フィールドの提供をいただき、研修の質的充実を図っています。また、校舎から5kmほどに位置する国内最大級668haの演習林(日南町有林)は、FSC森林認証林でもあり、町が目指す「循環型林業モデル構想」のフィールドとしての活用にも取りかかっています。

修学期間は1年、教育課程は実践訓練期と就業準備期の2段階で、10月までの実践訓練期では、森林計画学、造林学、森林土壌学、森林環境学といった現場で必要となる森林の知識の習得と林業実習、そして、林業従事者として必要となる資格取得講習を、11月から始まる就業準備期では、林業現場を体験するインターンシップを中心とするカリキュラムを策定しています。定員は10名、今年度は10代から40代までの男性6名、女性1名の計7名の学生が、地元鳥取県を始め、岡山、京都、千葉から集まり、本校で学んでいます。

開校時、全国初の町営林業アカデミーということで注目を集めた本校ですが、日南町だけでなく、鳥取県はもとより全国の林業後継者の育成を目指すことと謳ったことでマスコミにも大きく取り上げていただきました。町、県という垣根を取り払い、林業アカデミーが設置されていない地域からの入学者を確保するという狙いもありましたが、一方で、森林環境税を運営費に充当する以上は、全国各地で活躍できる人材を私たちの町から創出していくというグローバルな目的もありました。今後、7名の学生たちは、広大な演習林での充実した実技実習を踏まえ、地域企業等でのインターンシップに臨みます。

本町が目指す循環型林業の実現には、新たな担い手の育成は急務です。これらの担い手には、即戦力としてだけでなく、国の森林・林業政策の動向はもちろんのこと、森林の保全、再生、生物多様性など幅広い視野を持つ能力が求められています。産声をあげたばかりの本校ですが、地域から信頼される林業技術者を養成し、林業の成長産業化に取り組む地域の負託に応えうる人材を輩出していきたいと考えています。



入学式の様子



第1期生



演習林



林業実習（チェーンソー基礎研修）



林業実習（林業機械の基礎）



林業実習（除伐）



林業実習（素材生産現場研修）



資格取得講習（小型林業機械研修）